

A decorative border composed of various house icons, including simple houses, houses with chimneys, and houses with gabled roofs, arranged in a rectangular frame around the central text.

第3章

公営住宅の供給戸数の目標量

第3章 公営住宅の供給戸数の目標量

1 公営住宅の供給戸数の目標量及び考え方

(1) 公営住宅の供給の考え方

公営住宅の既存ストックを最大限有効に活用するため、収入超過者、高額所得者対策の実施や定期借家制度（期限付き入居）の活用など管理の適正化に努めます。

また、既存ストックの更新については、中長期的な観点を踏まえ、計画的な建替えを行うとともに、改良、改善、維持保全等、建物を長期に活用するための措置を講じます。

本計画において、県及び市町村が供給する公営住宅は次表に示す戸数を目標量とします。



〔団地南側〕



〔団地北側〕

大宮東宮下団地（平成18年8月竣工）

(2) 公営住宅の供給戸数の目標量

	前期（5年間）	全体（10年間）
	H18～H22	H18～H27
計画期間における 公営住宅の目標量	1万6千戸	3万3千戸
うち県営住宅の目標量	1万1千戸	2万3千戸

※「供給」とは、新規、建替えなど整備に伴う供給及び空家募集をさします。



〔団地南側〕



〔団地北側〕

朝霞根岸台団地（平成18年3月竣工）

